

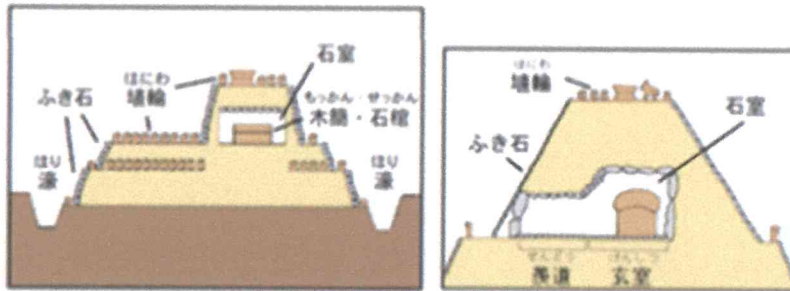
〈古墳文化の変化〉

○古墳時代後期(6世紀)

・【1】の普及

→死者をおさめる玄室、玄室と外部を結ぶ通路である羨道を備える。追葬が可能。朝鮮半島の影響を受けている。

古墳の構造



・人物や動物をかたどった【2】埴輪の増加。

→被葬者の生前の儀礼などの様子を再現している？

・副葬品…多量の土器(土師器・須恵器)、金銅製の武器・馬具、日用品など。

・【3】古墳の登場

→石室の壁面や棺に彩色画がほどこされている。

竹原古墳(福岡県)など

・【4】の登場

→小型古墳が密集的に作られる。有力農民層による古墳の築造。ヤマト政権の支配の一端を担う。

巨勢山古墳群(奈良県)、新沢千塚古墳(奈良県)など

確認問題 1-13

- 問1 6世紀の古墳時代後期になると、古墳の埋葬施設は従来の竪穴式にかわり、朝鮮半島と共通のものが普及した。何とよばれるものか。 ()
- 問2 九州や茨城県・福島県などの古墳には、墓室に彩色あるいは線刻された壁画を持つものが見られるが、これを何というか。 ()
- 問3 埴輪は大きく2種類に分けることができるが、家や器財、人、動物などを表しているものは何か。 ()
- 問4 埴輪を大きく2種類に分けたときに、筒状や壺状になっているものを何というか。 ()
- 問5 5世紀の終わりから6世紀にかけて現れた、2カ所に十数基から数百基もの小さな古墳が密集して作られているものを何というか。 ()

発展問題 1-13

- 問1 横穴式石室において、遺体を置く主室を何と呼ぶか。 ()
- 問2 横穴式石室において、遺体を置く主室と外部を結ぶ通路を何と呼ぶか。 ()
- 問3 福岡県にある後期の円墳で、石室の壁に馬・人・竜・船などが描かれているものは何か。 ()
- 問4 茨城県にある後期の前方後円墳で、石室の壁に武器・武具・馬具・図形などが描かれているのは何か。 ()
- 問5 国際色豊かな遺物が出土したことで知られる、約370基の大小さまざまな古墳からなる群衆墳は何か。 ()
- 問6 法隆寺の西の丘上にある後期の円墳で、家形石棺や金銅製品、精巧な馬具、銅鏡、剣など、様々な品が副葬されていたことで知られるのは何か。 ()